

(別紙2)

## カリキュラム＜講義と演習＞

科目の細目	講義と演習の実施方法
1. 職務の理解 (6時間)	
多様なサービスの理解 (3時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・これから目指すべき介護の在り方・環境・仕事の具体的なイメージを持ち、実践的に取り組めるようにする。</li><li>・介護保険内サービス(居宅・施設)と介護保険外サービス等の種類、特性、目的を理解する。</li></ul>
介護職の仕事内容や働く現場の理解 (3時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・居宅・施設サービスにおける介護の仕事内容や働く現場について理解する。</li><li>・ケアプランから始まり介護サービスが提供されるまでの一連の流れと、多職種による連携の必要性と連携方法を理解する。</li></ul> <b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・介護サービスについてDVDを活用し、サービス内容及び提供現場を理解する。</li></ul>
2. 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	
人権と尊厳を支える介護 (4時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・介護を必要とする人が有する権利擁護と人権尊重について理解する。<ol style="list-style-type: none"><li>① 人権と尊厳の保持</li><li>② ICF</li><li>③ QOL</li><li>④ ノーマライゼーション</li><li>⑤ 虐待防止・身体拘束禁止</li><li>⑥ 個人の権利を守る制度の概要</li></ol></li></ul> <b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・生命・自由及び幸福追求に対する権利について、利用者の人権と尊厳を支える介護を提供する専門職であることが理解できるようにグループワークを行う。</li></ul>
自立に向けた介護 (5時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・自立支援について、利用者の残存機能を活用し、重度化予防の視点・必要性を理解する。</li><li>・介護予防については、心身機能の改善や環境調整等を通じて要介護状態にならないように支援することを理解する。</li></ul> <b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・関連テーマでのグループワークを行い、講師が講評する。</li></ul>

3. 介護の基本（6時間）	
介護の役割、専門性と多職種との連携 （2時間）	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職に求められる専門性を理解する。</li> <li>・訪問介護・施設介護サービスの違いと地域包括ケアの方向性における多職種との連携の重要性を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者の視野を広げるため、事例やDVDを活用し具体的に思い描けるようにする。</li> </ul>
介護職の職業倫理 （1時間）	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職に求められる職業倫理と社会的責任を理解する。</li> <li>・プライバシー保護・尊重と情報共有について理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討を通してグループワークを行い、介護職における職業倫理について考察する。</li> </ul>
介護における安全の確保とリスクマネジメント （2時間）	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全を確保するために事故や感染、介護における主要なリスクに結びつく要因を探り、そのリスクの予防と対策及び事故発生時の対応について理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故報告書とヒヤリハット報告書の書き方</li> </ul>
介護職の安全 （1時間）	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い安心安全な介護サービスを提供するために必要不可欠な介護職自身の健康管理の重要性について理解する。</li> <li>・ストレスマネジメント・腰痛予防・手洗いうがい・感染症対策について理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DVDを活用し、ボディメカニクスの原則の理解と、腰痛体操を行う。</li> </ul>
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）	
介護保険制度 （3時間）	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度が創設された背景を理解した上で、制度の目的と動向について学び、介護保険制度の基本的な仕組みを理解する。</li> <li>・介護保険制度を支える財源・組織・団体の役割と機能について理解する。</li> </ul>

<p>医療との連携とリハビリテーション (3時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職と医行為の実情と経過について理解する。</li> <li>・在宅及び施設における介護職と看護職の役割と連携について理解する。</li> <li>・リハビリテーションの理念・定義・目的を踏まえ、介護との連携について理解する。</li> </ul>
<p>障害者総合支援制度およびその他制度 (3時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉制度における障害の概念と障害者自立支援制度の基本的な仕組みについて理解する。</li> <li>・社会的な支援が必要な人の生活や権利を守るため、日常生活支援事業・成年後見制度・個人情報保護法などの生活支援について理解する。</li> </ul>
<p>5. 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)</p>	
<p>介護におけるコミュニケーション (3時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの意義・目的・役割などから、利用者や家族の心身機能に合わせた配慮と技法について理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを行い、自己のコミュニケーションスタイルを知ることにより、利用者・家族の抱く感情や気持ちの理解を図る</li> </ul>
<p>介護におけるチームのコミュニケーション (3時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護における記録の意義と目的を踏まえ、介護記録の種類と情報共有化の重要性を理解する。</li> <li>・チームケアに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を知り、その必要性について理解する。</li> <li>・ケアカンファレンスや事例検討など会議は、情報共有の場であり、問題解決の場であることを理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に介護記録を記入する。</li> </ul>
<p>6. 老化の理解 (6時間)</p>	
<p>老化に伴うこころとからだの変化と日常 (3時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老化による心理や行動には個人差があることと、老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを行い、老化がもたらす変化や日常生活への影響について考察する。</li> </ul>

<p>高齢者と健康 (3時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に多い疾病や生活習慣病などの疾患の症状や特徴を理解する。</li> <li>・疾患別での日常生活支援の留意点や観察するポイント、対処方法について理解する。</li> </ul>
<p>7. 認知症の理解 (6時間)</p>	
<p>認知症を取り巻く状況 (1.5時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方を理解する。</li> </ul>
<p>医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 (1.5時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の概念、原因疾患とその病態、原因疾患別ケアの注意点や判断基準となる原則を理解する。</li> </ul>
<p>認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 (1.5時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴を把握し、認知症の症状を知ることにより、どのようなケアが必要かを理解する。</li> <li>・認知症の利用者への対応をするには、その人の尊厳を守る視点を持つことについて理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを行い、事例をもとに認知症の利用者への対応を考察する。</li> </ul>
<p>家族への支援 (1.5時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族介護者の介護の大きさを知り、レスパイトの重要性を理解する。</li> <li>・家族による介護方法を尊重し、家族との協力関係を築くことの必要性を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例をもとに、「もし自分の家族が認知症になったら・・・」家族としてどういう支援をするかを考察する。</li> </ul>
<p>8. 障害の理解 (3時間)</p>	
<p>障害の基礎的理解 (1時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者に対する差別・偏見といったマイナスイメージではなく、障害はその人の個性であるという考え方を理解する。</li> <li>・ICFにおける心身機能・身体構造について理解する。</li> <li>・障害者福祉の基本理念であるノーマライゼーションの概念を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例をもとに、ICFの考え方に沿って社会支援の考え方について考察する。</li> </ul>

<p>障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識 (1時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障害・知的障害・精神障害などの所外の分類を理解し、障害が人に与える心理状態や社会活動における影響を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例をもとにグループワークを行い、障害があることでの心理変化や行動について考察する。</li> </ul>	
<p>家族の心理、かかわり支援の理解 (1時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族にも障害の受容が必要であり、家族自身の社会参加や自己現実に対する支援について理解する。</li> <li>・家族介護負担の軽減や、家族支援となるレスパイトサービスについて理解する。</li> </ul>	
<p>9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)</p>		
<p>基礎知識の学習</p>	<p>介護の基本的な考え方 (3時間)</p>	<p><b>【講習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理論・法的根拠にもとづく介護サービスと、その目的について理解する。</li> <li>・我流の介護ではなく、利用者主体の介護と生活できる環境づくりの重要性を理解する。</li> </ul>
	<p>介護に関するこころのしくみの基礎的理解 (4時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の諸理論と記憶のメカニズムを理解する。</li> <li>・日常生活における行動の原動力である感情と、行動を起こす動機付けである意欲について理解する。</li> <li>・自己概念と生きがい(QOL)の視点について理解する。</li> <li>・生理的欲求や安全欲求の充足の重要性と、こころとからだに影響を与える要因について理解する。</li> </ul>
	<p>介護に関するからだのしくみの基礎的理解 (4時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人体各部の名称としくみに関する基礎的知識を理解する。</li> <li>・骨・関節・筋に関する基礎知識を理解し、ボディメカニクスを活用する。</li> <li>・中枢神経・体制神経の種類とはたらきに関する基礎知識を理解する。</li> <li>・内部器官に関する基礎的構造としくみ、役割を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイタルサイン(体温・脈拍・呼吸・血圧)の測り方について、受講生同士で実践を行う。</li> </ul>

生活支援技術の講義・演習	生活と家事 (6時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の生活習慣・価値観やこだわりに応じた家事援助の重要性を理解する。</li> <li>・介護職が行う家事援助は専門性のある援助であり、利用者ができる部分とできない部分を把握し、どのように援助すれば自立した生活が送れるかを考えなければならないことを理解する。</li> </ul>
	快適な居住環境整備と介護 (6時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して快適で健康的に生活する居住環境とは何かを理解する。</li> <li>・居住環境における安全性の確保をするために、家庭内事故を未然に防ぐ配慮の必要性を理解する。</li> <li>・介護保険による住宅改修と福祉用具に関する留意点と支援方法を理解する。</li> </ul> <b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に福祉用具を使用し、体感することで理解を深める。</li> </ul>
	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整容とは自分らしく生活意欲を高め、その人らしく生活するための支援であることを理解する。</li> <li>・利用者の力を活用し、整容の介護を行うための技術について理解する。</li> </ul> <b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体状況に合わせた衣類の選択をし、実際に着脱する。</li> </ul>
	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体機能を維持するため、移動・移乗の必要性を理解する。</li> <li>・利用者の力を活用し、移動・移乗の介護を行うための技術（ボディメカニクスの基本原理）について理解する。</li> </ul> <b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす・ベッド・いす等を使い、車いす移乗や体位変換等移動・移乗動作全般を実施する。</li> </ul>
	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最も基本的な生活行為である食事の必要性と、食事に関するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・食事環境の整備と食事に関する用具の活用方法を理解する。</li> <li>・心身機能の低下が食事に及ぼす影響を理解する。</li> </ul> <b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人組になり、介護者・利用者に分かれ食事体験を実施する。</li> </ul>

<p>生活支援技術の講義・演習</p>	<p>入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴・清潔保持がもたらす心身への効果と、入浴に関するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者に合った入浴方法と介助方法の選択の必要性を理解する。</li> <li>・心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2人組になり、部分清拭・足浴・手浴体験を実施する。</li> </ul>
	<p>排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間が生きていくうえで不可欠な排泄の必要性と、排泄に関するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・利用者の力を活用し、気持ちの良い排泄の介護を行うための技術について理解する。</li> <li>・心身機能の低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを行い、ベッド上でのおむつ交換・Pトイレ・差し込み便器・尿器を使用し排泄の介助を実施する。</li> </ul>
	<p>睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良質な睡眠の重要性と、睡眠に関するところとからだのしくみを理解する。</li> <li>・安眠を支援するために睡眠環境の整備と睡眠関連の用具の活用方法を理解する。</li> <li>・睡眠不足が及ぼす影響を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを行い、ベッドメイキングを実施する。</li> </ul>
	<p>死にゆく人に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護 (6時間)</p>	<p><b>【講義】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・終末期における身体機能の変化と、その状況に合わせたかわり方を理解する。</li> <li>・死にゆく人のこころの過程と死の受容・精神的苦痛の種類と原因について理解する。</li> <li>・利用者・家族が持つ身体的・精神的な苦痛を軽減するために、多職種でチームを作り情報を共有する必要性を理解する。</li> </ul> <p><b>【演習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを行い、自分たちが望む最後の在り方について考察する。</li> </ul>

生活支援技術演習	介護課程の基礎的理解 (3時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が希望する生活の実現に向けて、介護課程の目的・意義・展開についての重要性を理解する。</li> <li>・チームケアにおける介護職の役割を理解する。</li> <li>・個別援助計画書の読み方と作成方法を理解する。</li> </ul> <b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを行い、事例を用いた個別援助計画を作成する。</li> </ul>
	総合生活支援技術演習 (7時間)	<b>【演習】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークを行い、事例をもとに演習・発表・意見交換する。</li> <li>・生活場面・障害状況など異なる事例を通し、具体的な介護計画・内容・留意点を展開していく。</li> </ul> (1事例 1.5時間程度のサイクルで行う)
10. 振り返り (4時間)		
振り返り (3時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修全体を振り返り、今回の研修で学んだことについて再確認を行う。</li> <li>・介護職が大切にすべき視点と心身の状況に応じた基本的な介護技術の習得を理解する。</li> <li>・今までの研修の中で、わからないことの質疑も行き、全体のまとめをする。</li> </ul>	
就業への備えと研修終了後における継続的な研修 (1時間)	<b>【講義】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅・施設の何れかであっても、身だしなみ・言葉遣い・応対等の礼節等の業務における基本的態度の視点を持って介護を行えるよう理解する。</li> <li>・介護全体のキャリアパスを明確にし、研修終了後についても継続的な研修を具体的にイメージできる事例を紹介する。</li> </ul>	
合 計	130時間	

※「講義と演習の実施方法」は文章で具体的に記載すること。単語のみの羅列は不可。